

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2071800144		
法人名	株式会社ライフ・ケア		
事業所名	グループホームまゆ更科		
所在地	長野県千曲市杭瀬下2丁目85番地		
自己評価作成日	平成 29年 12月 17日	評価結果市町村受理日	平成 30年 2月 22日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kainkensaku.mhlw.go.jp/20/index.php?action_kouhyou_detail_2016_022_kani=true&liyosyoCd=2071800144-00&PrefCd=20&VersionCd=022
----------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	コスモプランニング株式会社		
所在地	長野市松岡1丁目35番5号		
訪問調査日	平成 29年 12月 25日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

社社でもある利他感謝の精神をもとにお客様・職員がお互いに感謝し合い「ありがとう」をたくさん言い合える環境を心掛けています。お客様が認知症になってもホームに入所してもその人らしく暮らし続けられるよう社会貢献の場を模索している。例えば職員と一緒に認知症の啓発活動の一環である「サポーター養成講座」にお連れし、紙芝居のお手伝いをさせていただいている。ホームの一部を地域に開放し、認知症カフェをボランティアを中心にして地域包括支援センター、社会福祉協議会と共に協力し合い月に1度開催している。重度になっても最後まで「口から食べる」「自分の足で歩く」「トイレで排泄する」を目標に職員が協力し合い自立支援に向けたサービスの提供をしている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当ホームは千曲市杭瀬下の住宅街にあり、近くには千曲川や市民憩いの場となっている中央公園がある。今年12月に法人として松代と篠ノ井にグループホームを開所し、互いに切磋琢磨していく存在となっている。法人の理念を基に会社の行動規範があり、それらを具体化するために法人として繰り返し研修を実施している。各種委員会を中心にして身体拘束「0」の取り組みや入浴・排泄のアセスメントにも力を入れ、ケアに活かしている。地域との関わりでは、ホーム行事に地域住民が参加したり様々なボランティアが来訪し、利用者の生活に潤いをもたらしている。また認知症サポーター養成講座や傾聴ボランティア実習、オレンジカフェなどに関わることによってグループホームや認知症への理解を深める機会も提供している。家族との関わりでは年3回家族会があり、利用者との交流や意見収集の場となっているだけでなく、家族がホームの清掃活動をするなど密接な関係が築かれている。また、防災面では夜間想定や地震・水害想定などを地域住民や法人他事業所も含めて実際に即した内容で行い、訓練後には時間をかけて反省会をするなど万が一に備えている。現状に満足することなく自立支援に重きを置き利用者の状況に合わせて業務の見直しをするなど、柔軟な対応でホームをより良くしていこうとする姿勢が強く感じられるホームである。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				